



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を



ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>

ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

平和大会 in 富士山

2015年10月31日、11月1日の両日、静岡県御殿場市で『平和大会 in 富士山』が開催され延べ1200人を超える人が集まりました。

全労連青年部は初日の開会集會での青年ステージ、二日目の入門分科会「富士山のふもとで戦争訓練？何のための基地？戦争？」、市内パレードの青年隊列内の企画運営に参加。入門分科会では青年の現状を知りわかりやすい入門分科会を作るために青年事前アンケートを作成。全国の青年から寄せられたアンケートの結果をもとに、入門分科会を企画しました。

日本平和大会青年アンケート

① 静岡に米軍基地があることを知っていますか？

知っている
81人(30%)

知らない 186人(70%)

② 戦争をなくせると思いませんか？

なくせると思う
101人(39%)

なくせないと思う 160人(61%)

理由

- なくせるといふより、なくさないといけないうもの、なくせると信じて努力しなければならぬから。
- 日本は70年間戦争してこなかったから。
- 人間が作り出したものだから、人間の手でなくせるはず。戦争は利害関係が原因だから。
- 日本やいくつかの国は戦争放棄を掲げているから。
- 武力では解決しない。実際に紛争解決のための話し合いや外交努力が進んでいる。

理由

- 価値観、宗教、文化、考え方が違うため。
- 世界で争いがなかった時代がないから。
- 安倍政権やアメリカのような国がいるから。
- 戦争によって利益を得る人がいる限りなくせない。
- 人間の生物的本能は争いを好む、戦争を好む、その先に戦争に行きつく。

③ 関心があるテーマを教えてください(複数回答可)

日本国憲法	125人	自衛隊	113人	暮らしと安保の関わり	74人
日米安保条約	123人	核兵器	110人	アジアの平和構築	57人
歴史認識	115人	米軍基地	86人	その他	15人

※2015年6～8月、10～30代の267人に実施

戦争をなくせると思いませんか？

～青年アンケート～

今回の入門分科会を開催するにあたって事前アンケートを実施、10～30代267人からの回答が集まりました。東富士演習場内(静岡)に米軍施設があることを知っているかとの問いかけに、存在を「知らない」が70%(186人)。また戦争をなくせるかの問いかけには61%(160人)がなくせないと回答しました。戦争をなくせると回答した回答者からは「日本は70年戦争をしていなかったから」「武力では解決しない。実際に紛争解決のために話し合いや外交努力が進んでいる」などの理由が寄せられ、なくせないと回答した回答者からは「安倍政権やアメリカのような国がいるから」「戦争によって利益を得る人がいる限りなくせない」などといった理由が寄せられました。

「富士山のふもとで戦争訓練？何のための基地？戦争？」～入門分科会～

アンケートの結果を受け入門分科会では基地の実態に触れることを重視し、戦争をなくす展望を語り合おうと東京慈恵医科大学教授の小沢隆一さんを講師に「富士山のふもとで戦争訓練？何のための基地？戦争？」を企画。60人が参加しました。

はじめに小沢さんのレクチャーで戦争はどのようにして起きるのか、実力行使による「直接的暴力」、飢餓、貧困、差別などによる「構造的暴力」、暴力を助長するような表現による「文化的暴力」があることを解説。戦争が政治、経済などに密接にかかわっていることを指摘しました。さらに戦争法を憲法9条下で強行した背景について、これまでの集団的自衛権の政府見解、憲法審査会での議論も示しながら解説。根本に日米安保条約があることを指摘しました。

「この演習場がまっすぐ戦争とつながっている」。山梨の青年・宮内現さんは、北富士演習場の実

態を報告しました。宮内さんは同演習場で行われている米海兵隊の 155 ミリリゅう弾砲の実弾砲撃演習の監視活動に参加し、人を殺す「戦場」を目の当たりにしました。「地面がさく裂しているのを見て凍りついた気持ちになった。弾は鉄片になって飛んでくる。これが人を殺すメカニズム。撃ち込まれる側を想像すると恐ろしい。戦争へのリアリティがぐっと迫ってきた」と語りました。

その後、参加者はグループに分かれて討論。どうしたら戦争をなくせるか、意見を出し合いました。「戦争をなくすために憲法の力を大事にしていきたい」「人間性を否定するのが戦争だとしたら、生活の中でもブラック企業の問題など、人を人とも思わない状況がある。これも戦争につながるのでは」などの意見が出されました。



最後に、小沢さんは「運動は地道に事実を直視しておかしいところを突き止めて声を上げ、広げていくしかない。これからも地道な活動を続けていきましょう」と呼びかけました。

参加者は、「初めて参加した。平和を勝ち取る活動は5年10年ではできないけどがんばっていきたい」、「国のあり方を変え、戦争をなくしたいと思った。演習場のリアルな報告を聞いて、戦争に加担することはやっぱりおかしいと実感できた」と感想を寄せていました。

《平和新聞 2015年11月5日・15日合併号》

建交労東京都本部青年部第17回定期総会を開催

建交労東京都本部青年部は、11月29日に第17回定期総会を開催。

12人の仲間が参加した定期総会は、秋山哉保青年部長の開会あいさつから始まり、来賓の東京都本部の青山永副執行委員長、東京都本部女性部の横山恭子部長、全国青年部の菅野雅臣部長から激励と連帯のあいさつを受けました。

特別講演として、全国青年部の福富保名事務局長を講師に『反核トラックキャラバンの歴史と意義について』を学習しました。

休憩をはさみ、上村誠青年部事務局長から、この一年間の運動の総括と新しい運動方針案の提案をうけ、拍手で確認しました。

総会閉会后、初めて参加した仲間たちも含めて懇親会をおこないました。

《青年部ニュース 建交労全国青年部 2015年度6号》



いわて労連青年部第26回定期大会



2015年12月12日、いわて労連青年部第26回定期大会が開催され18名が参加しました。大会では武田彩青年部長、いわて労連中村健事務局長あいさつ。議案提案が行われ、総括では最低生計費シミュレーション・スポーツ&BBQ 交流会・反核マラソン・ブロック交流会などの取り組み報告が行われ、今後の運動方針案が確認されました。質疑討論では「新歓の取り組み。DVDを使いおこない、昨年以上の加入があった。NPTに4名送り出した。」(自治労連)、「ボーリング大会、新歓を例年通り開催した」(福祉保育労)等各組織から発言が行われ、最後に総括答弁をおこない議案採択では満場一致で採択されました。